

〔夏季高温期に対応できる苗物花きの生産と景観維持技術の開発（受託試験）〕

ダイアンサス「スープラ」シリーズの播種時期と開花特性の把握

小幡彩夏・岡澤立夫

（園芸技術科）

【要約】ダイアンサス「スープラ」シリーズは、播種時期を3月下旬～4月中旬にすることで開花日を6月中旬から下旬に合わせることが可能である。

【目的】

2020年の夏に東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が決まったことで、会場などを植栽する夏花の利用拡大が期待される。昨年度は、「和」をイメージする河原なでしこについて花色や播種時期による開花性の違いを検討したが調査した品種が販売中止となったため、今度は同様の形質（図1：花卉に大きな切れ込みが多く入っている）をもつダイアンサス「スープラ」シリーズのオリンピックの会場植栽時期（6月中旬から下旬）に合わせた播種時期と開花性の違いを明らかにする。

【方法】

ダイアンサス「スープラ レッド、スープラ ホワイト、スープラ パープル」（タキイ種苗株）を供試し、2016年3月2日から約2週間おきに5回（①3月2日、②3月16日、③3月30日、④4月13日、⑤4月27日）、市販播種用土を充填した288穴セルトレイへ播種した。展開葉が2～4枚時に3.5号黒ポリ鉢へ1本植えて鉢上げした。定植用土は、赤土：腐葉土：ピートモス＝5：3：2（容積比）の混合用土とし、基肥は用土100Lあたり成分量でN＝54g、P₂O₅＝160g、K₂O＝54gを施用した。1区10株の2反復とした。1輪が開花した時点で草丈、株張の調査を行った。

【成果の概要】

1. 品種にかかわらず、播種から75日前後で開花したが、播種日が遅くなるほど到花日数は短くなる傾向にあった（表1）。しかし、「スープラ レッド、スープラ パープル」は、4月27日播種で到花日数が4月13日播種と比べやや長くなった。開花時期を6月の定植時期に合わせるためには、播種日は3月30日以降であればよいことがわかった。
2. 「スープラ レッド、スープラ ホワイト」は、播種時期にかかわらず草丈に違いがみられなかった（図2）。「スープラ パープル」は、3月30日播種の草丈が一番大きかった。
3. 品種にかかわらず、播種時期が遅くなると株張が小さくなる傾向にあった（図3）。特に、4月27日播種で株張が低下したが、品質上問題となる範囲ではなかった。
4. まとめ：以上から、品種にかかわらず播種日が遅くなるほど開花が早まる傾向にあったが、播種から開花までの日数は75日前後であった。播種日の影響は草丈よりも株張に現れたが品質に影響を与えるほどではなかった。また、平均開花日の結果から、播種時期を3月30日以降にすれば、ダイアンサス「スープラ」シリーズの開花時期を6月中旬から下旬に合わせることが可能であった。

表1 播種日の違いが生育・開花に及ぼす影響

品種名	播種日	開花日	到花日数 ^a (日)
スーブラ レッド	3月2日	5月15日	75c
	3月16日	5月29日	74c
	3月30日	6月10日	72b
	4月13日	6月21日	69a
	4月27日	7月7日	72b
スーブラ パープル	3月2日	5月17日	77b
	3月16日	5月30日	76b
	3月30日	6月14日	76b
	4月13日	6月23日	71a
	4月27日	7月11日	75b
スーブラ ホワイト	3月2日	5月18日	78bc
	3月16日	6月2日	78c
	3月30日	6月13日	76bc
	4月13日	6月26日	74b
	4月27日	7月6日	70a

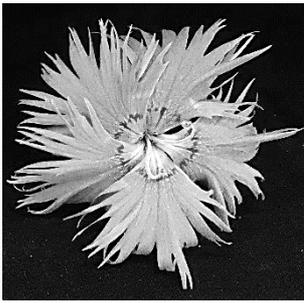


図1 スーブラレッド

a) 品種別同一列同じ英文字間には Tukey-Kramer 法により 5%水準に有意差がない

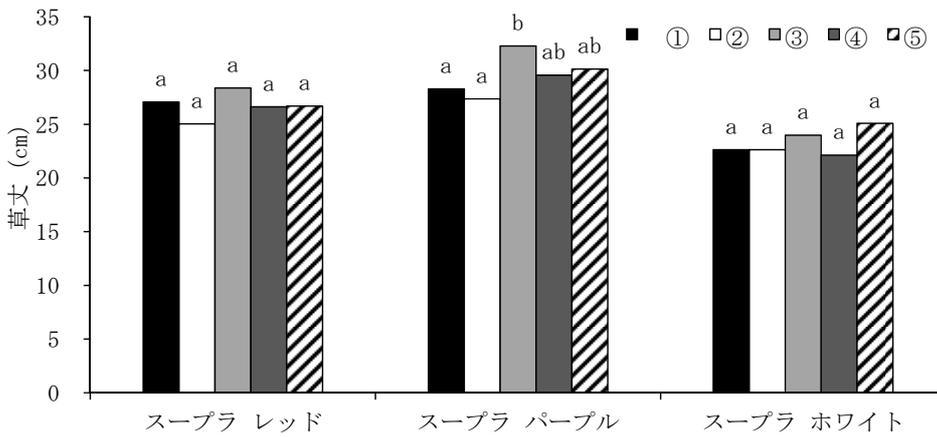


図2 異なる播種時期の草丈への影響

※) 同じ文字間には Tukey-Kramer 法により 1%水準で有意差がない

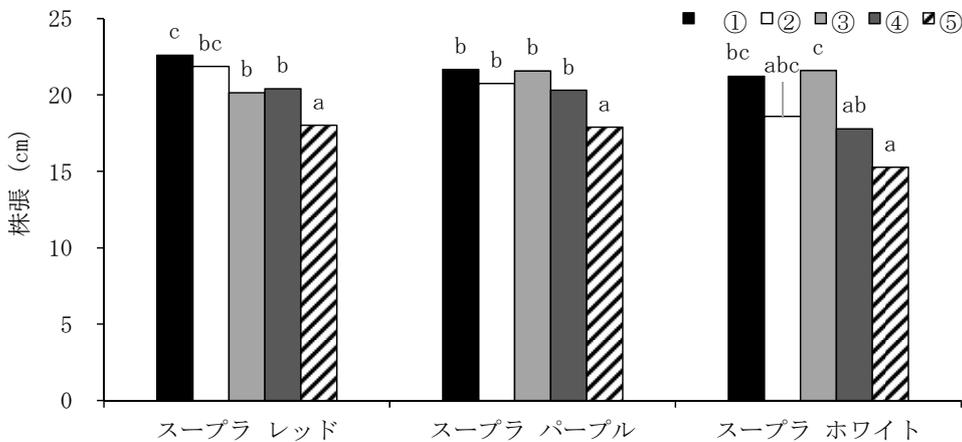


図3 異なる播種時期の株張への影響

※) 同じ文字間には Tukey-Kramer 法により 1%水準で有意差がない